

1. 湖産アユの質的保全に関する総合調査研究費

1) 耳石日周輪から推定した1999年産アユのふ化日組成

田中秀具・片岡佳孝・澤田宣雄・孝橋賢一・酒井明久

【目的】湖産アユのふ化時期等初期の資源状況を把握し、その後の成長・発育の状況を調べることで、従来の産卵調査・ヒウオ曳網調査による資源状況の量的把握に、資源の質的側面の情報を加え、よりきめの細かい漁況予測を実現する事を目的とする。

【方法】1999年9月30日～12月15日の間に10回のヒウオ曳網調査を行い、湖内各地で採集した仔稚アユ標本1892尾について耳石の日周輪を読みとり、各個体のふ化日を推定した。

【結果】

- ①標本から推定された1999年のアユのふ化期間は9月3日～10月29日であった(図1)。
- ②ふ化のピークは9月25日付近、10月9日付近にみられる2峰型で、10月17日付近も1つのピークと捉えるなら、3峰型であった(図1)。
- ③9月16日付近にみられる小さなピークは、図2との比較から、人工河川からの流下によるものと推定された。
- ④1998年のほぼ同一方法によるふ化日組成を図3に示す。図1と図3を比較すると、1998年は9月のピークが無いことが大きな違いである。それ以外は両年のふ化日組成の傾向はよく一致していた。これは、1998年が、夏期の降雨不足により、アユの産卵期のうち、9月20日までが河川の異常渇水であり、産卵ができる状況にはなかったことによるものと思われる。それに対して1999年は産卵期間を通じて産卵河川が渇水になることはなく、アユ親魚も順調に産卵場へ来遊していたこととあわせて、1999年のふ化日組成は標準的な湖産アユのふ化日組成を表す型といえよう。

【文献】

- 1) 平成11年度人工河川管理運用結果報告書, 滋賀県水産振興協会
- 2) 湖中におけるアユのふ化時期別発育と冬期漁獲魚の発育段階, 平成10年度滋賀県水産試験場事業報告

図1.1999年のアユの
ふ化日組成

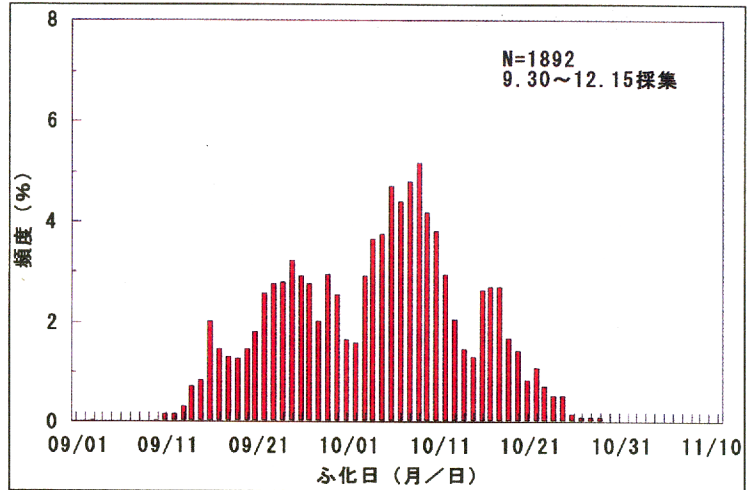


図2.1999年の人工河川
からの流下仔アユ数
(滋賀県水産振興協会資料
に基づき、グラフ化した。)

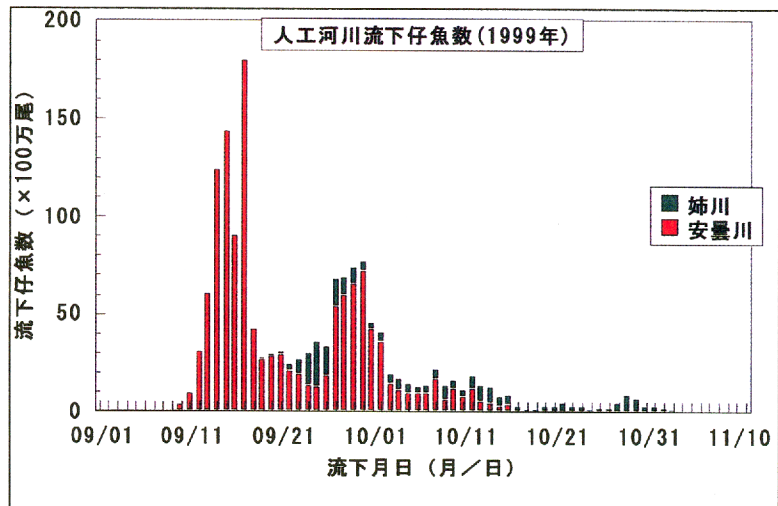


図3.1998年のアユの
ふ化日組成

